

第3期末（2024年8月13日）

基準価額	13,761円
純資産総額	71億円
騰落率	33.0%
分配金	0円

ニッセイ・ メタバースワールド (資産成長型)

追加型投信／内外／株式

運用報告書(全体版)

作成対象期間：2023年8月11日～2024年8月13日

第3期（決算日 2024年8月13日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ・メタバースワールド（資産成長型）」は、このたび第3期の決算を行いました。

当ファンドは、「ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド」受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2023年8月11日～2024年8月13日

基準価額等の推移



第3期首	10,347円	既払分配金	0円
第3期末	13,761円	騰落率(分配金再投資ベース)	33.0%

- (注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 2023年11月上旬から2024年3月下旬にかけて、インフレの落ち着きなどから欧米中央銀行による金融政策の方向転換に対する期待感を背景とした米長期金利の低下や、生成人工知能（A I）の需要拡大による米大手半導体企業の良い業績発表などが好感されたこと、保有上位銘柄の良い業績発表を受けて株価が上昇したこと
- ・ 5月上旬から7月上旬にかけて、米利下げへの期待感や生成A Iの成長を支える半導体関連銘柄が市場をけん引したこと、保有銘柄の良い業績動向を受けて株価が上昇したこと

<下落要因>

- ・ 2024年7月中旬以降、米政府の中国に対する半導体輸出規制の強化懸念などによりテクノロジー関連銘柄に利益確定売りを出し他の業種へ資金を移動させるセクターローテーションの動きとなったことに加えて、日銀の利上げに端を発した世界的な株価変動により株価が下落したこと
- ・ 7月中旬以降、日銀が追加利上げを実施し想定以上に金融引き締めに向きを示したことなどから米ドル安円高となったこと

1万口当たりの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	245円	1.913%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は12,822円です。
(投信会社)	(128)	(0.998)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(114)	(0.887)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(4)	(0.028)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	3	0.022	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(3)	(0.022)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0.002	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(0)	(0.002)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	3	0.024	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.015)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.008)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.001)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	251	1.961	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

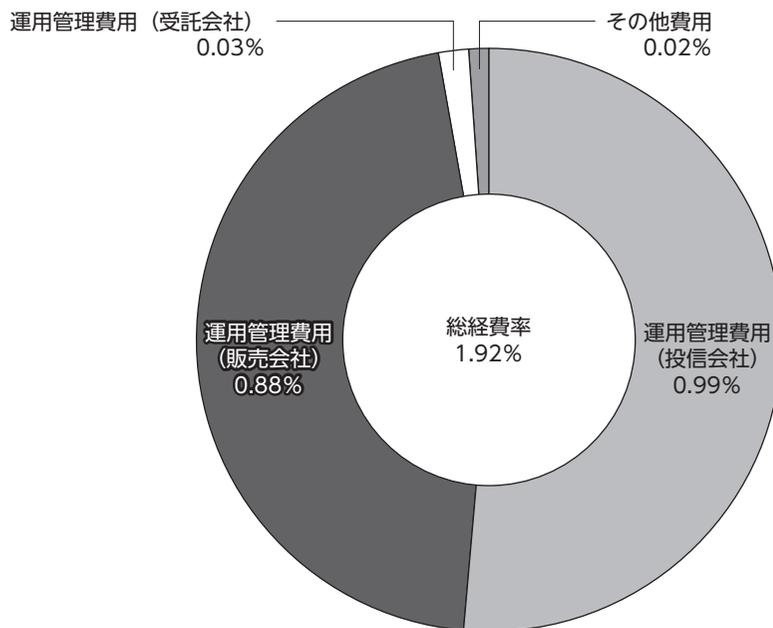
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.92%**です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

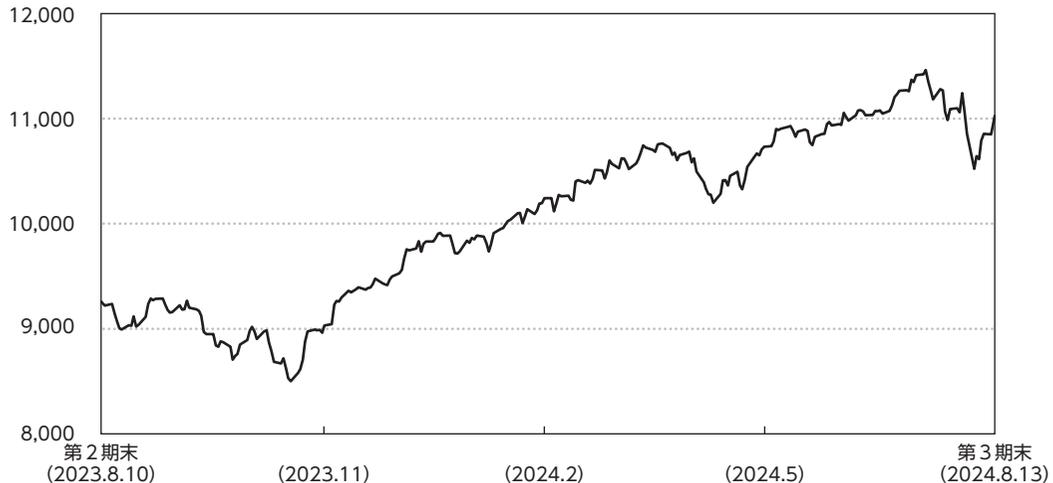
(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

投資環境

株式市況

【MSCIワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）の推移】

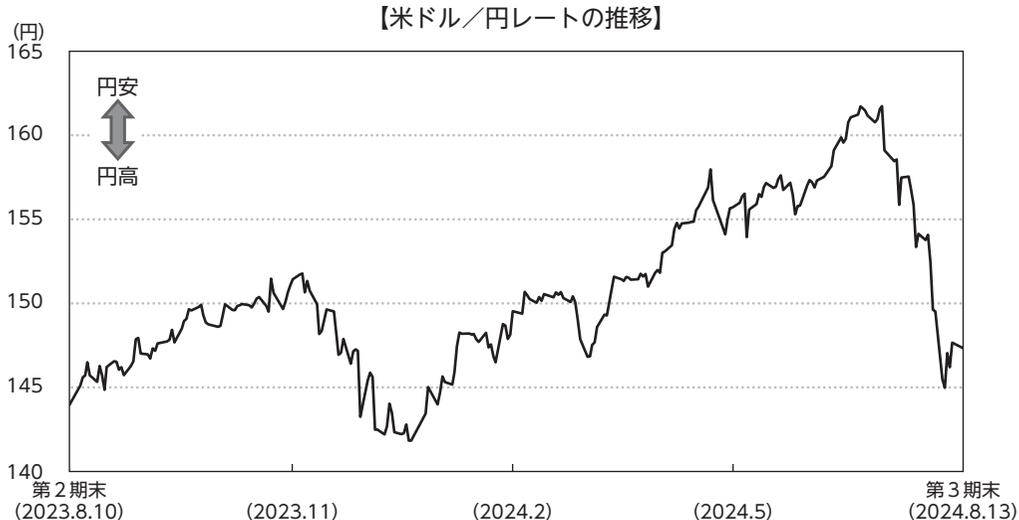


(注) FactSetのデータを使用しています。

株式市場は期を通じて見ると上昇しました。

期初以降、米政府機関閉鎖への懸念や全米自動車労働組合（UAW）によるストライキなどの金利上昇要因が複数顕在化し、米金融引き締め長期化への懸念と相まって米長期金利の上昇が懸念され株価は下落する展開となりました。2023年11月に入るとインフレの落ち着きなどから欧米中央銀行による金融政策の方向転換に対する期待感を背景とした米長期金利の低下から株価は持ち直す展開となりました。特に米大手半導体企業の生成AI需要拡大による好業績発表などから半導体関連銘柄が市場をけん引したことや、年内の米利下げ観測も下支えとなり株価は上昇基調となりました。2024年7月中旬以降は米政府の中国に対する半導体輸出規制の強化懸念などによりテクノロジー関連銘柄に利益確定売りを出し他の業種へ資金を移動させるセクターローテーションの動きとなったことに加えて、日銀の利上げに端を発した世界的な株価変動により上げ幅を縮め、当期末を迎えました。

■為替市況



(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

米ドル／円相場は期を通じて見ると米ドル高円安となりました。

期初以降、欧米中央銀行による金融引き締め継続等を受けて米ドル高円安基調が進行しました。2023年11月中旬以降は欧米中央銀行による金融政策の方向転換に対する見方の高まりから米ドル安円高に転じた場面があったものの、年明け以降は能登半島地震により日銀の金融政策正常化が遅れるとの見方や米早期利下げ観測の後退などから米ドル高円安基調となりました。2024年7月中旬以降は日銀が追加利上げを実施し想定以上に金融引き締めに向きを示したことや、米雇用統計の悪化などから、円売り・高金利通貨買いの円キャリーポジションの巻き戻しとみられる動きが加速し、米ドル安円高となりました。

ポートフォリオ

■当ファンド

マザーファンド受益証券の組み入れを高位に保った運用を行いました（ただし、当ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、当ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

■マザーファンド

日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

当期末における業種配分は、組入比率の高い順に情報技術(69.0%)、コミュニケーション・サービス(19.5%)、一般消費財・サービス(2.2%)としています。

当期末における国・地域別配分は、組入比率の高い順にアメリカ(81.3%)、台湾(2.1%)、オランダ(2.0%)としています。

(注1) メタバースとはメタ(meta:超越)とユニバース(universe:世界)を組み合わせた造語で、通信ネットワーク上に構築された仮想空間やそのサービスのことをさします。参加者はアバターと呼ばれる自分の分身を操作して、仮想空間内でさまざまな活動を行うことができます。

(注2) 業種はGICS分類(セクター)によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

(注3) 比率は対純資産総額比です。

(注4) 国・地域はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ベンチマークとの差異

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに合った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期	
	2023年8月11日～2024年8月13日	
当期分配金（税引前）	-	
対基準価額比率	-	
当期の収益	-	
当期の収益以外	-	
翌期繰越分配対象額	3,760円	

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■マザーファンド

当マザーファンドは長期的な視点で、今後、大きな成長が期待される「メタバース」に関連する技術、コンテンツ展開力、市場アクセス等に強みを持つ企業へ投資を行っています。投資にあたっては「メタバース」関連の技術やコンテンツ等において企業として競争優位性を持っているかを分析したうえで、今後、中長期的な業績成長シナリオを達成できると見込まれる企業への投資を行っています。

「メタバース」はこれから成長する技術でもあり、多くの技術やコンテンツ等は比較的新しい中小の企業が持っていることも事実です。このため、当マザーファンドでは時価総額などで規模の小さい企業群への投資がやや多くなる傾向にあります。「今後、これらの中小規模の企業が大きく業績成長することを期待して投資を行っている」とご理解いただけますと幸いです。銘柄選別にあたっては「メタバース」をキーワードとした業績成長シナリオを想定しており、経営陣が確かな執行能力を持つと思われる企業の中から、長期的な成長力を重視して選択しています。同時に株価バリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）を考慮し、相対的にバリュエーションが高すぎる銘柄を排除するなど、慎重な銘柄選択を実施しています。今後も、「メタバース」をキーワードに長期的な成長を達成し、同時に企業価値を向上することができる銘柄への投資を進めていきたいと考えています。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

■組入ファンド

	第3期末 2024年8月13日
ニッセイ・メタバースワールド マザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

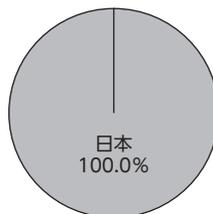
項目	第3期末 2024年8月13日
純資産総額	7,163,424,717円
受益権総口数	5,205,755,300口
1万口当たり基準価額	13,761円

(注) 当期間中における追加設定元本額は2,697,878,151円、同解約元本額は2,087,280,513円です。

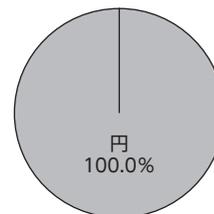
■資産別配分



■国別配分



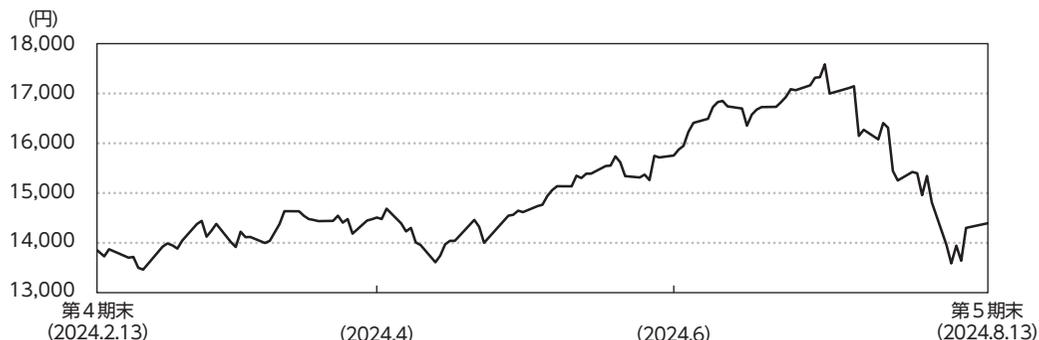
■通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2024年8月13日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ・メタバースワールドマザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

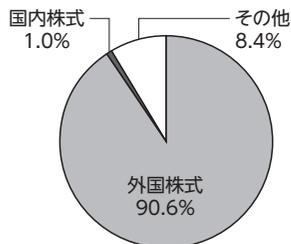
銘柄名	通貨	比率
META PLATFORMS INC-A	米ドル	8.0%
NVIDIA CORP	米ドル	8.0
BROADCOM INC	米ドル	6.0
ARISTA NETWORKS INC	米ドル	4.0
IMMERSION CORPORATION	米ドル	4.0
APPLIED MATERIALS INC	米ドル	3.7
MICROSOFT CORP	米ドル	3.4
QUALCOMM INC	米ドル	3.3
CADENCE DESIGN SYSTEMS INC	米ドル	2.8
TERADYNE INC	米ドル	2.7
組入銘柄数		43

■ 1万口当たりの費用明細

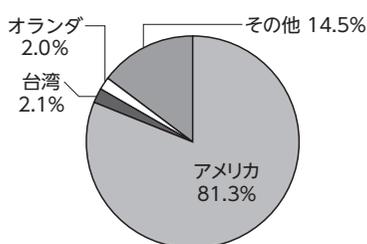
2024.2.14～2024.8.13

項目	金額
売買委託手数料 (株式)	2円 (2)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (0)
合計	4

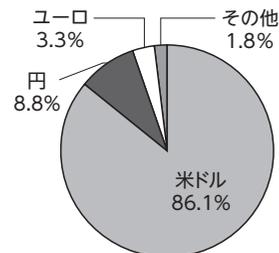
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2024年8月13日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	株式 組入比率	純資産 総額
(設定日)	円	円	%	円	%	百万円
2022年3月31日	10,000	—	—	10,000	—	864
1期(2022年8月10日)	8,989	0	△10.1	8,989	96.6	4,034
2期(2023年8月10日)	10,347	0	15.1	10,347	98.6	4,754
3期(2024年8月13日)	13,761	0	33.0	13,761	91.6	7,163

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

(注5) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注6) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	株式 組入比率
	円	%	%
(期首)2023年8月10日	10,347	—	98.6
8月末	10,700	3.4	97.4
9月末	10,416	0.7	98.7
10月末	10,152	△ 1.9	97.2
11月末	11,309	9.3	96.9
12月末	11,672	12.8	97.9
2024年1月末	12,659	22.3	95.9
2月末	13,388	29.4	93.4
3月末	13,899	34.3	93.2
4月末	13,900	34.3	90.3
5月末	14,722	42.3	87.9
6月末	16,028	54.9	90.1
7月末	14,309	38.3	91.6
(期末)2024年8月13日	13,761	33.0	91.6

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2023年8月11日～2024年8月13日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド	2,597,779	3,720,556	2,098,287	2,736,188

(注) 単位未満は切り捨てています。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	6,565,267千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	10,964,582千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	0.59

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 外国株式の(a)は各月末（決算日の属する月については決算日）、(b)は各月末の国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2023年8月11日～2024年8月13日

当期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2024年8月13日現在

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド	4,478,212	4,977,704	7,164,907

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるニッセイ・メタバースワールドマザーファンド全体の口数は11,729,912千口です。

投資信託財産の構成

2024年8月13日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド	7,164,907	98.9
コール・ローン等、その他	80,763	1.1
投資信託財産総額	7,245,670	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお8月13日における邦貨換算レートは、1米ドル147.34円、1香港ドル18.91円、1ユーロ161.04円です。

(注2) ニッセイ・メタバースワールドマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（15,401,646千円）の投資信託財産総額（17,191,338千円）に対する比率は89.6%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年8月13日現在)

項目	当期末
(A) 資産	7,245,670,695円
コール・ローン等	60,884,245
ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド(評価額)	7,164,907,141
未収入金	19,879,309
(B) 負債	82,245,978
未払解約金	18,810,851
未払信託報酬	63,180,980
その他未払費用	254,147
(C) 純資産総額(A-B)	7,163,424,717
元本	5,205,755,300
次期繰越損益金	1,957,669,417
(D) 受益権総口数	5,205,755,300口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,761円

(注) 期首元本額	4,595,157,662円
期中追加設定元本額	2,697,878,151円
期中一部解約元本額	2,087,280,513円

損益の状況

当期（2023年8月11日～2024年8月13日）

項目	当期
(A) 配当等収益	8,344円
受取利息	11,584
支払利息	3,240
(B) 有価証券売買損益	1,035,389,009
売買益	1,396,472,386
売買損	△ 361,083,377
(C) 信託報酬等	△ 110,549,728
(D) 当期損益金(A+B+C)	924,847,625
(E) 前期繰越損益金 (分配準備積立金)	394,028,673
(F) 追加信託差損益金* (配当等相当額)	638,793,119
(売買損益相当額)	(320,957,840)
(317,835,279)	
(G) 合計(D+E+F)	1,957,669,417
次期繰越損益金(G)	1,957,669,417
追加信託差損益金	638,793,119
(配当等相当額)	(322,081,036)
(売買損益相当額)	(316,712,083)
分配準備積立金	1,318,876,298

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	31,224,763円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	893,622,862円
(c) 信託約款に定める収益調整金	638,793,119円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	394,028,673円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	1,957,669,417円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	3,760.59円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円

お知らせ

■約款変更

・以下の変更に伴い、関連条項に所要の変更を行いました。

- ①デリバティブ取引の利用目的を明確化
- ②信託期間の延長

(2023年11月11日)

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式	
信 託 期 間	2022年3月31日～2044年8月10日	
運 用 方 針	ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。	
主要運用対象	ニッセイ・メタバースワールド（資産成長型）	ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド受益証券
	ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド	日本を含む各国の株式
運用方法	ニッセイ・メタバースワールド（資産成長型）	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。	

ニッセイ・メタバースワールド マザーファンド

運用報告書

第 5 期

(計算期間：2024年2月14日～2024年8月13日)

運用方針	①主に日本を含む各国の株式等を主要投資対象とし、仮想現実関連技術を含むメタバース関連ビジネスを行う企業の株式に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。	主要運用対象	日本を含む各国の株式
	②仮想現実関連技術を含むメタバース関連ビジネスを行う企業のなかから、メタバース関連ビジネス拡大の恩恵を受け、今後、利益成長が期待できる銘柄に投資を行います。	運用方法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

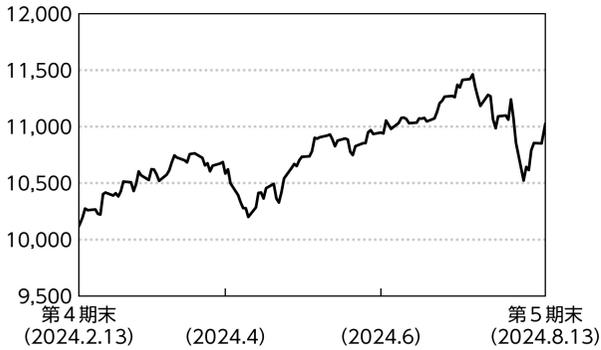
運用経過

2024年2月14日～2024年8月13日

投資環境

株式市況

【MSCIワールド・インデックス
(配当込み、米ドルベース)の推移】

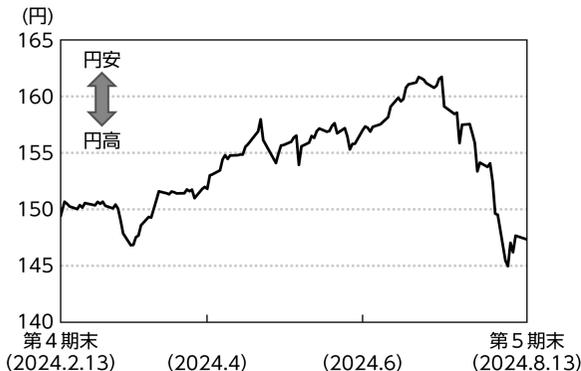


(注) FactSetのデータを使用しています。

株式市場は期を通じて見ると上昇しました。期初以降、米大手半導体企業の生成AI需要拡大による好業績発表などから半導体関連銘柄が市場をけん引したことや、年内の米利下げ観測も下支えとなり株価はおおむね上昇基調となりました。7月中旬以降は米政府の中国に対する半導体輸出規制の強化懸念などによりテクノロジー関連銘柄に利益確定売りを出し他の業種へ資金を移動させるセクターローテーションの動きとなったことに加えて、日銀の利上げに端を発した世界的な株価変動により上げ幅を縮め、当期末を迎えました。

為替市況

【米ドル/円レートの推移】

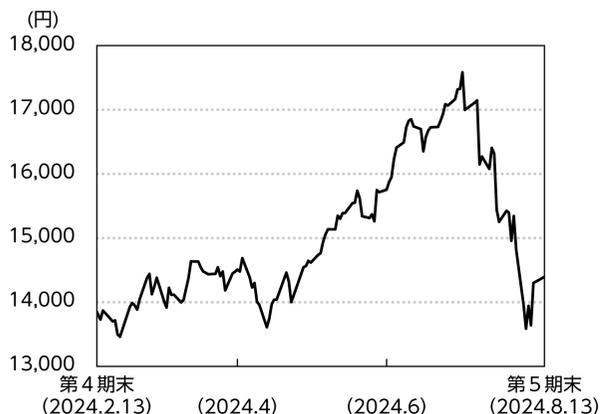


(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

米ドル/円相場は米連邦準備制度理事会 (FRB) の金融政策の方向性と日銀の金融緩和と政策正常化の間で大きく上下する展開となりましたが、期を通じて見ると米ドル安円高となりました。

期初以降、日銀の金融緩和継続の見方から米ドル高円安となりましたが、7月中旬以降は日銀が追加利上げを実施し想定以上に金融引き締めに向き姿勢を示したことや、米雇用統計の悪化などから、円売り・高金利通貨買いの円キャリーポジションの巻き戻しとみられる動きが加速し、米ドル安円高となりました。

基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 期初から7月上旬にかけて、投資家のリスク嗜好姿勢や日銀の金融緩和継続姿勢を受けて米ドル高円安が進行したこと
- ・ 5月上旬から7月上旬にかけて、米利下げへの期待感や生成人工知能（AI）の成長を支える半導体関連銘柄が市場をけん引したこと、保有銘柄の良好な業績動向を受けて株価が上昇したこと

<下落要因>

- ・ 7月中旬以降、米政府の中国に対する半導体輸出規制の強化懸念などによりテクノロジー関連銘柄に利益確定売りを出し他の業種へ資金を移動させるセクターローテーションの動きとなったことに加えて、日銀の利上げに端を発した世界的な株価変動により株価が下落したこと
- ・ 7月中旬以降、日銀が追加利上げを実施し想定以上に金融引き締めに向き姿勢を示したことなどから米ドル安円高となったこと

ポートフォリオ

日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

当期末における業種配分は、組入比率の高い順に情報技術（69.0%）、コミュニケーション・サービス（19.5%）、一般消費財・サービス（2.2%）としています。

当期末における国・地域別配分は、組入比率の高い順にアメリカ（81.3%）、台湾（2.1%）、オランダ（2.0%）としています。

(注1) メタバースとはメタ（meta：超越）とユニバース（universe：世界）を組み合わせた造語で、通信ネットワーク上に構築された仮想空間やそのサービスのことをさします。参加者はアバターと呼ばれる自分の分身を操作して、仮想空間内でさまざまな活動を行うことができます。

(注2) 業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

(注3) 比率は対純資産総額比です。

(注4) 国・地域はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

当マザーファンドは長期的な視点で、今後、大きな成長が期待される「メタバース」に関連する技術、コンテンツ展開力、市場アクセス等に強みを持つ企業へ投資を行っています。投資にあたっては「メタバース」関連の技術やコンテンツ等において企業として競争優位性を持っているかを分析したうえで、今後、中長期的な業績成長シナリオを達成できると見込まれる企業への投資を行っています。

「メタバース」はこれから成長する技術でもあり、多くの技術やコンテンツ等は比較的新しい中小の企業が持っていることも事実です。このため、当マザーファンドでは時価総額などで規模の小さい企業群への投資がやや多くなる傾向にあります。「今後、これらの中小規模の企業が大きく業績成長することを期待して投資を行っている」とご理解いただけますと幸いです。銘柄選別にあたっては「メタバース」をキーワードとした業績成長シナリオを想定しており、経営陣が確かな執行能力を持つと思われる企業の中から、長期的な成長力を重視して選択しています。同時に株価バリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）を考慮し、相対的にバリュエーションが高すぎる銘柄を排除するなど、慎重な銘柄選択を実施しています。今後も、「メタバース」をキーワードに長期的な成長を達成し、同時に企業価値を向上することができる銘柄への投資を進めていきたいと考えています。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率		株式組入比率	純資産総額
(設定日)	円		%	%	百万円
2022年3月31日	10,000		—	—	1,115
1期(2022年8月10日)	9,050	△	9.5	96.6	4,925
2期(2023年2月10日)	8,645	△	4.5	93.5	8,259
3期(2023年8月10日)	10,618		22.8	98.6	8,897
4期(2024年2月13日)	13,888		30.8	96.3	10,692
5期(2024年8月13日)	14,394		3.6	91.6	16,884

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

(注3) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		株式組入比率
(期首)2024年2月13日	円		%	%
	13,888		—	96.3
2月末	13,884	△	0.0	93.4
3月末	14,436		3.9	93.2
4月末	14,461		4.1	90.3
5月末	15,340		10.5	87.9
6月末	16,726		20.4	90.0
7月末	14,957		7.7	91.6
(期末)2024年8月13日	14,394		3.6	91.6

(注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

2024年2月14日～2024年8月13日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料 (株式)	2円 (2)	0.016% (0.016)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.002 (0.002)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用)	1 (1)	0.006 (0.006)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	4	0.023	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（15,068円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2024年2月14日～2024年8月13日

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外国	アメリカ	百株 3,813 (1,071)	千米ドル 33,418	百株 9	千米ドル 848
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	オランダ	9	857	-	-
	フランス	141	518	-	-

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は株式分割、合併などによる増減分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 地域は発行通貨によって区分しています。以下同じです。

(注4) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2024年2月14日～2024年8月13日

株式

銘柄	買付			銘柄	売付		
	株数	金額	平均単価		株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
META PLATFORMS INC-A	6	475,038	75,969	NVIDIA CORP	0.937	128,460	137,097
BROADCOM INC	5	374,752	69,864	-	-	-	-
APPLIED MATERIALS INC	7	259,841	34,140				
QUALCOMM INC	8	243,579	29,719				
IMMERSION CORPORATION	155	242,906	1,558				
ARISTA NETWORKS INC	4	237,512	49,564				
MICROSOFT CORP	3	226,718	67,195				
CADENCE DESIGN SYSTEMS INC	4	192,263	45,744				
ADVANCED MICRO DEVICES INC	7	188,389	25,764				
TERADYNE INC	8	185,595	21,143				

(注1) 金額は受渡代金で、外国株式は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

組入有価証券明細表

2024年8月13日現在

(1) 国内株式
上場株式

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
電気機器(39.2%)			
ソニーグループ	4	4	63,430
その他製品(60.8%)			
任天堂	12	12	98,425
合計	株数・金額	17	161,855
	銘柄数<比率>	2	<1.0%>

(注1) 銘柄欄の()内は、当期末における国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。

(注2) 合計欄の< >内は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 株数および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および評価額が単位未満の場合は、小数で記載していません。以下同じです。

(2) 外国株式

銘柄	期首(前期末)	当期末			業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千米ドル	千円	
(アメリカ)					
ADOBE INC	30	46	2,481	365,634	ソフトウェア・サービス
ADVANCED MICRO DEVICES INC	135	208	2,858	421,150	半導体・半導体製造装置
AKAMAI TECHNOLOGIES INC	101	156	1,554	229,105	ソフトウェア・サービス
ALPHABET INC-CL A	109	169	2,744	404,420	メディア・娯楽
AMAZON.COM INC	83	128	2,147	316,346	一般消費財・サービス流通・小売り
APPLE INC	87	133	2,912	429,129	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
APPLIED MATERIALS INC	141	217	4,199	618,813	半導体・半導体製造装置
ARISTA NETWORKS INC	89	136	4,633	682,689	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
AUTODESK INC	73	113	2,716	400,317	ソフトウェア・サービス
BENTLEY SYSTEMS INC-CLASS B	281	432	2,090	307,959	ソフトウェア・サービス
BROADCOM INC	30	464	6,902	1,017,015	半導体・半導体製造装置
CADENCE DESIGN SYSTEMS INC	78	120	3,203	471,951	ソフトウェア・サービス
CIENA CORP	199	306	1,485	218,924	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ELECTRONIC ARTS INC	97	150	2,195	323,443	メディア・娯楽
IMMERSION CORPORATION	2,894	4,453	4,537	668,607	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
MARVELL TECHNOLOGY INC	171	263	1,594	234,942	半導体・半導体製造装置
META PLATFORMS INC-A	116	178	9,220	1,358,554	メディア・娯楽
MICROSOFT CORP	62	96	3,922	577,995	ソフトウェア・サービス
NVIDIA CORP	82	843	9,193	1,354,625	半導体・半導体製造装置
QUALCOMM INC	152	234	3,815	562,180	半導体・半導体製造装置

ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド

銘柄	期首(前期末)	当期末			業種等		
		株数	株数	評価額			
				外貨建金額		邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円		
ROBLOX CORP -CLASS A		427	657	2,454	361,662	メディア・娯楽	
SAMSUNG ELECTRONICS-GDR 144A		6	9	1,351	199,190	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
SEA LTD-ADR		93	144	966	142,407	メディア・娯楽	
SKYWORKS SOLUTIONS INC		164	253	2,592	382,022	半導体・半導体製造装置	
SNAP INC - A		361	556	501	73,952	メディア・娯楽	
SYNOPSIS INC		38	58	3,068	452,078	ソフトウェア・サービス	
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR		93	143	2,411	355,314	半導体・半導体製造装置	
TAKE-TWO INTERACTIVE SOFTWARE		80	123	1,823	268,645	メディア・娯楽	
TERADYNE INC		163	250	3,068	452,133	半導体・半導体製造装置	
TEXAS INSTRUMENTS INC		86	132	2,544	374,836	半導体・半導体製造装置	
UNITY SOFTWARE INC		198	304	463	68,271	ソフトウェア・サービス	
WALT DISNEY CO		89	137	1,182	174,242	メディア・娯楽	
ZOOM VIDEO COMMUNICATIONS-A		129	199	1,103	162,593	ソフトウェア・サービス	
小計		株数・金額 銘柄数<比率>	6,951 33	11,827 33	97,944 -	14,431,156 <85.5%>	
(香港)				千香港ドル			
ALIBABA GROUP HOLDING LTD		333	333	2,612	49,400	一般消費財・サービス流通・小売り	
BAIDU INC-CLASS A		237	237	1,958	37,041	メディア・娯楽	
MEITUAN-B		10	10	107	2,025	消費者サービス	
NETEASE INC		280	280	3,942	74,550	メディア・娯楽	
TENCENT HOLDINGS LTD		93	93	3,487	65,948	メディア・娯楽	
XIAOMI CORP-CLASS B		2,554	2,554	4,203	79,495	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
小計		株数・金額 銘柄数<比率>	3,507 6	3,507 6	16,312 -	308,461 <1.8%>	
(ユーロ/オランダ)				千ユーロ			
ASML HOLDING NV		17	27	2,134	343,677	半導体・半導体製造装置	
小計		株数・金額 銘柄数<比率>	17 1	27 1	2,134 -	343,677 <2.0%>	
(ユーロ/フランス)							
DASSAULT SYSTEMES SA		263	405	1,359	218,908	ソフトウェア・サービス	
小計		株数・金額 銘柄数<比率>	263 1	405 1	1,359 -	218,908 <1.3%>	
ユーロ計		株数・金額 銘柄数<比率>	281 2	432 2	3,493 -	562,585 <3.3%>	
合計		株数・金額 銘柄数<比率>	10,740 41	15,767 41	- -	15,302,204 <90.6%>	

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額の< >内は、当期末の純資産総額に対する株式評価額の比率です。

(注3) 業種はGICS分類(産業グループ)によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

投資信託財産の構成

2024年8月13日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	15,464,059	90.0
コール・ローン等、その他	1,727,279	10.0
投資信託財産総額	17,191,338	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお8月13日における邦貨換算レートは、1米ドル147.34円、1香港ドル18.91円、1ユーロ161.04円です。

(注2) 外貨建純資産 (15,401,646千円) の投資信託財産総額 (17,191,338千円) に対する比率は89.6%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年8月13日現在)

項目	当期末
(A)資産	17,191,338,850円
コール・ローン等	1,724,551,903
株式(評価額)	15,464,059,634
未収配当金	2,727,313
(B)負債	307,136,375
未払解約金	307,136,375
(C)純資産総額(A-B)	16,884,202,475
元本	11,729,912,397
次期繰越損益金	5,154,290,078
(D)受益権総口数	11,729,912,397口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,394円

(注1) 期首元本額 7,699,135,324円
 期中追加設定元本額 6,583,082,796円
 期中一部解約元本額 2,552,305,723円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイ・メタバースワールド (資産成長型) 4,977,704,003円
 ニッセイ・メタバースワールド (予想配分金提示型) 6,752,208,394円

損益の状況

当期 (2024年2月14日~2024年8月13日)

項目	当期
(A)配当等収益	39,950,818円
受取配当金	37,268,303
受取利息	2,687,641
支払利息	△ 5,126
(B)有価証券売買損益	△ 184,001,333
売買益	1,087,983,274
売買損	△ 1,271,984,607
(C)信託報酬等	△ 844,401
(D)当期損益金(A+B+C)	△ 144,894,916
(E)前期繰越損益金	2,993,222,675
(F)追加信託差損益金	3,586,830,861
(G)解約差損益金	△ 1,280,868,542
(H)合計(D+E+F+G)	5,154,290,078
次期繰越損益金(H)	5,154,290,078

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。